

## 大学の世界展開力強化事業（平成27年度選定）中間評価結果

大 学 名	○山形大学、山形県立米沢栄養大学、鶴岡工業高等専門学校
整理番号	L-1
事 業 名	「山形・アンデス諸国」ダブル・トライアングル・プログラム

### 大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価)  <span style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</span>	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	<p>                     本事業は、資源の乏しい我が国と、資源豊富なペルー、チリ、ボリビアのアンデス諸国を結び、双方で求める資源開発とプロジェクト推進のため、海外相手国の多様な文化・価値・技術・社会を理解し、環境と産業、安全保障のバランスと技術等を備えた人材育成を目的に、東北地域の復興を目指す山形大学を中心とする3校が連携して実施することで、グローバルな問題を解決に導くことを目指している。                 </p> <p>                     事業展開において、スペイン語と英語による対応が可能な人材を専任で雇用し、ペルーにサテライトオフィスを開所して情報共有と同時に受入学生と派遣学生との橋渡しを担っている点は、基盤強化と学生派遣時の安全確保の観点において効果的である。また、相手大学においても日本語講座を開講することで語学面の準備を行い、留学への動機付けを高めている点も高く評価できる。このほか、短期派遣も含めて単位化している点は、質の保証にも繋がっている。受入学生のインターンシップ先は山形県内企業との協力でなされており、地域における国際化推進を図る長期的な目標に適うものであると評価できる。アンデス諸国の天然資源を産業開発に繋げるという相手国のニーズを踏まえ、交流相手先6大学との連携を活かしながら着実に学生交流を実施し、その実績に基づくダブル・ディグリー制度の検討など、引き続き成果が期待できる。                 </p> <p>                     一方で、短期受入時の研修内容については、時間的制約を勘案した取組量と質への配慮がなされることを期待する。                 </p> <p>                     最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と、将来の我が国の更なる発展に向け、積極的な事業展開に取り組まれることを期待する。                 </p>